

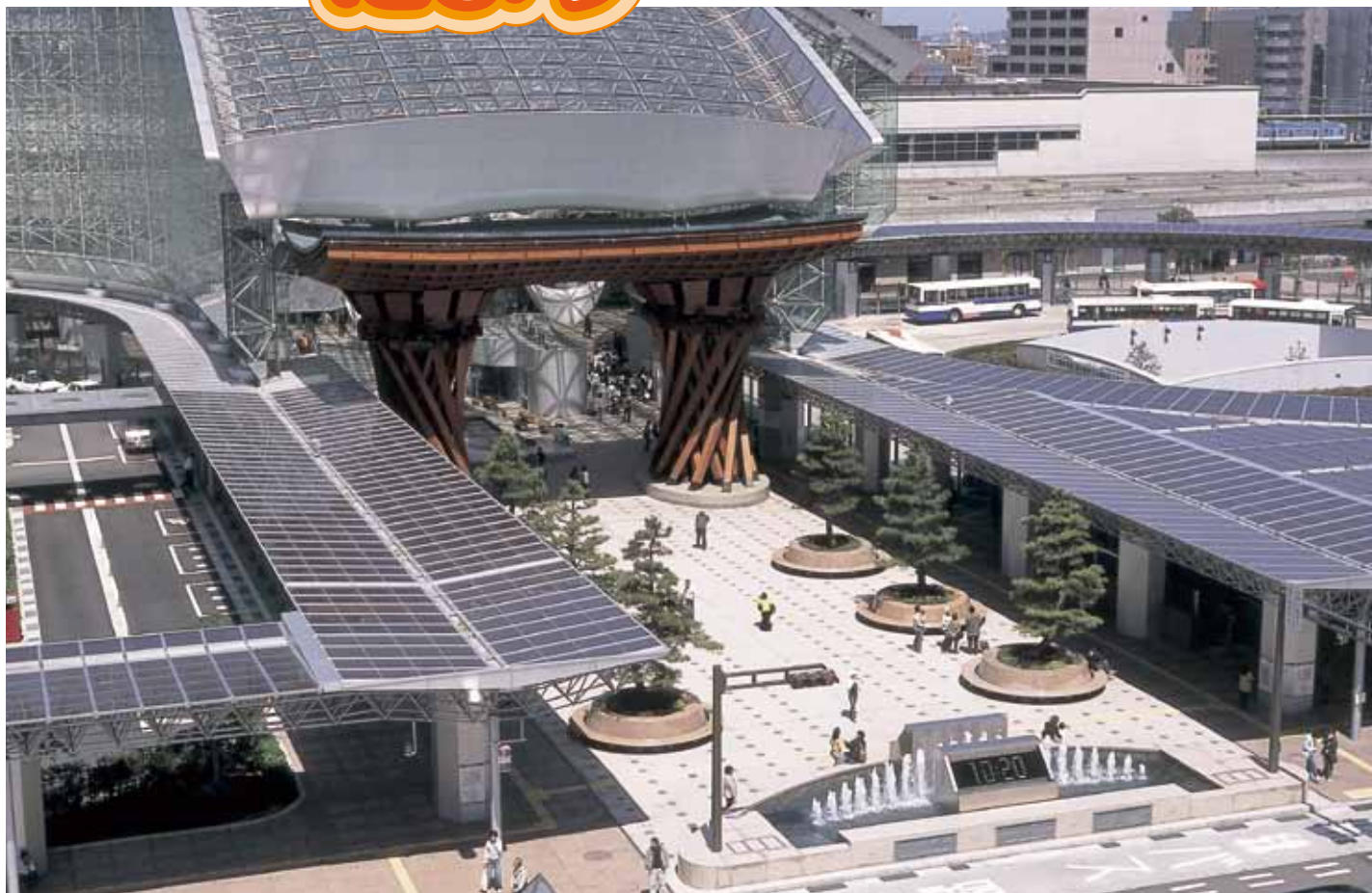
第39号

いしかわ 成人病予防センター だより

いしかわ成人病予防センターだより

第39号〔2017年〕

発行日 平成29年(2017年)2月発行
金沢市鞍月東2丁目6番地
電話(076)237-6262
FAX(076)238-9207
郵便番号 920-8201
郵便振替番号 00750-7-16352
E-mail smile@kenshin-ishikawa.or.jp
URL http://www.kenshin-ishikawa.or.jp/



JR 金沢駅東広場 (鼓門・もてなしドーム)

写真提供: 石川県観光連盟

ごあいさつ

公益財団法人 石川県成人病予防センター

理事長 素谷 宏

センターの標語「正確な検診、迅速な結果通知」を肝に銘じて今年も気を引き締めて検診に取り組んでまいります。

今年のセンターの事業の目玉であります「がん征圧全国大会」は、金沢市で9月7・8日に開催されることになり、その準備に担当者は忙しく走り回っております。

この大会は「がん検診の大切さ」を皆さんに知っていただき、がんで亡くなる方を減らすことを目的としておりますので、どうぞお誘い合わせて会場へ足をお運びください。

ところで、がん検診の方法は少しずつ手が加えられつつあります。胃がん検診では萎縮性胃炎が胃がんリスクを高めていることがわかりましたので、レントゲン画像から萎縮性胃炎の有無を判定することにいたしました。実は2年前よりセンターでは、萎縮の判定読影法を習得すべくトレーニングに励み、ようやく今年度の検診から実用化にこぎつけることができました。

今後とも新しい時代の波を先取りして、冒頭の標語「正確な検診、迅速な結果通知」に従って邁進してまいります。

検診スタッフに聞きました！ シリーズ① 臨床検査技師（細胞検査士）

検査課課長

山崎 豊

私たち臨床検査技師は、体から採取された血液や細胞などの検体を詳しく調べることが主な仕事です。

5つのがん検診のうち、「子宮頸がん検診」、「肺がん検診」の細胞診検査、「大腸がん検診」の便潜血検査を行っています。
今回は、どのような方法で検査し、がん検診結果としてお知らせしているかをお話します。

○子宮頸がん検診

子宮頸がん検診は、20歳以上の方に2年に1回、細胞診検査で行われます（市町によっては毎年受診できます）。

子宮の入口から採取した細胞をスライドガラスに塗抹し、固定・染色した標本を作製します。出来上がった標本を顕微鏡で観察し、異常な細胞の有無を調べます。検査をする上で重要なことは、採取した細胞をできるだけ多く壊さずに観察できる標本を作製することです。当センターでは、採取された細胞を液状で固定保存し、機械を用いて細胞を塗抹する液状化検体細胞診法（LBC）を採用しています（写真1）。この方法により、均一で観察しやすい標本が作製され、より精度の高い検査を行うことができます。

標本の判定は、臨床検査技師の中で、日本臨床細胞学会の認定試験に合格した細胞検査士と細胞診専門医が行います。はじめに細胞検査士が判定し、正常な細胞のみならば異常なしと判定され、検診結果となります。異常な細胞や判定に苦慮する細胞が見られた場合には、細胞

診専門医が最終判定し、その判定が検診結果となります。要精検となった場合には、異常な細胞が存在していることを意味します（写真2）。必ずコルポ診下の生検（腫拡大鏡でがんができればいい場所を観察し、要注意な組織の一部をけずりとってさらに詳しく調べる）による精密検査を受診してください（但しASC-USは、



写真1

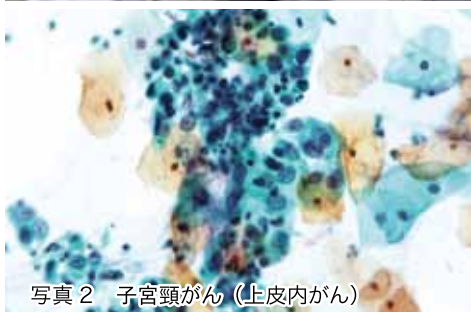


写真2 子宮頸がん（上皮内がん）

三浦主任

山崎課長

大澤課長補佐



H P V検査を行い陽性となった場合に行われます。

検査において、正しく判定されているかを絶えず確認する必要があります。細胞診検査は人の目で判定する形態学検査です。当センターは日本臨床細胞学会認定施設として、異常なし（陰性）標本の20%以上のダブルチェック（別の細胞検査士が再度判定）、細胞診専門医へ提出する標本について、デイスカッションを行った後に提出するなど、判定基準の統一化を計って精度を維持しています（写真3）。

子宮頸がんの多くは、H P V（ヒトパピローマ）ウイルスの持続感染により、がんが発生することがわかっています。数年後には、H P V検査と細胞診検査の併用による子宮頸がん検診が行われることが予想されます。

当センターでは、両方の検査を行うことが国際的に唯一認められているシンプレップ方式（アメリカFDA認可）を採用していますので、安心して受診頂けます。



写真3

肺がん検診（喀痰細胞診）

肺がん検診は、40歳以上の方に1年に1回、胸部X線検査と喀痰細胞診検査で行われます。

喀痰細胞診検査の対象者（ハイリスク者）は、50才以上の喫煙者の中で、喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上ある方です。誤解されがちですが、すでに禁煙された方も喫煙指数が600以上あれば対象となります。

喀痰細胞診検査は、3日分の痰を容器に貯めます。痰は粘性なのでそのままでは検査に適しません。必ず痰を容器に入れたら、10回以上振ってください。後日提出頂いた検体を遠心し細胞を集めスライドガラスに塗抹し、固定・染色した標本作製します。でき上がった標本の判定は、子宮頸がん検診と同じく細胞検査士と細胞診

専門医が行います。

要精検となった場合には、異常な細胞が存在していることを意味します（写真4）。しかし、喀痰細胞診検査では、肺のどの部分から剥がれ落ちた細胞なのかわかりません。必ず気管支鏡検査による精密検査を受診してください。

喀痰細胞診検査で見つかる肺がんは、1度の気管支鏡検査では見つからない場合があります。また咽頭・喉頭がん（のどや口の中）の場合もありますので、精密検査機関の医師の指示に従ってください。

大腸がん検診

大腸がん検診は40歳以上の方に、年1回、便潜血検査の2日法で行われています。

便潜血検査は、便中の血液成分であるヘモグロビンを検出することで、大腸がんのもっとも多い自覚症状である便に血が混じっているかを知ることができます。食べ物の中には、肉や魚などにヒト以外の血液成分を含みますが、それらには反応しません。食事制限をすること無く検査を受けることができます。

先ほどの細胞診検査とは異なり、分析機により検査が行われます。標準物質を測定し、正しい結果になることを確認した後に測定をしています（写真5）。

簡単に苦痛のない検査ですが、注意頂くことがあります。1つは、大腸のどこから出血しているかわからないので、便全体をな

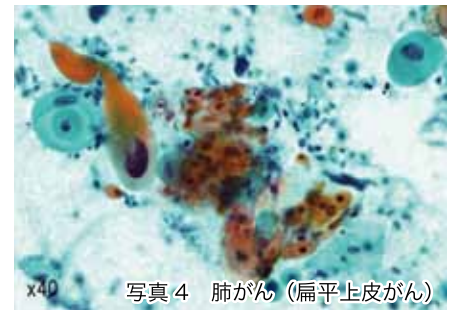


写真4 肺がん（扁平上皮がん）



写真5 OCセンサー DIANA

ぞって採便してください。2つ目は、ヘモグロビンは熱に弱く室温では変性して検出できなくなるため、採便後は必ず低温で保存してください。この2つを守って頂くことで正しい検診結果を報告することができます。

便に出血が認められなかった（便潜血検査陰性）方は、異常なしとなります。しかし、出血の原因となる病変があっても絶えず出血するとは限らないため、毎年受診してください。

便に出血を認めた（便潜血検査陽性）方は、要精検となります。直ちに全大腸内視鏡検査が行える医療機関で精密検査を受けてください。

要精検となった方で、もう一度便潜血検査を受診したいとお問い合わせ頂くことがあります。大腸がんを見逃す可能性がありとても危険です。大腸がん検診は、直接がんを見ている訳ではありません。ご自身や家族のために必ず精密検査を受けてください。

今回は、がん検診のうち「子宮頸がん検診」、「肺がん検診」、「大腸がん検診」の検査方法を簡単に説明させて頂きました。皆様が検診会場にお越し頂きがん検診を受診頂くのに対して、私たちはセンター内で検査するためお会いすることは殆どありません。顔は見えなくても、正しく、正確な方法で検査しておりますので安心して受診してください。

国が定めるがん検診の他、ABC検査（胃がんリスク検査・胃がん発生の危険度分類）など新しい検査も積極的に取り入れております。検診方法、検診結果以外に、ご興味ございましたら何なりとお問い合わせください。

なお、何らかの自覚症状がある場合や体調がすぐれない場合は、検診結果を待たず直ちに医療機関を受診してください。

次回は、放射線技師のお話です。お楽しみに！



検診車「やすらぎちゃん」と「ほほえみちゃん」

わが町のがん検診

加賀市 保健師 角地 真美

検診もやや右肩上がりとなっていますが、国の目標とする40、50%にはほど遠い状況となっています。

がん検診受診率向上の取り組み

〈周知〉

- ・対象者全員への個別案内
- ・ホームページや広報への掲載
- ・特定健診と併せての市の家庭訪問での受診勧奨
- ・保健推進員さんによる各地区での集会やイベント等でのチラシ配布やポスター掲示など、地域における身近な方からの検診受診勧奨
- ・かかりつけ医による受診勧奨



〈若い世代への普及啓発〉

- ・成人式や市内保育園を通じてのチラシ配布
- ・市で実施している母子保健の健診での検診受診の呼びかけ

〈検診の体制〉

- ・各地区の集会場における検診の実施
- ・レディース検診日の設定
- ・一部の検診日に併せて歯周病検診や骨密度測定の実施など

受診率向上のために、以上のような様々な取り組みを行ってきました。

また、がん検診を無料で受診できる無料クーポン券を子宮頸がんは20〜40歳、乳がん・大腸がんは40〜60歳の5歳刻みの人へ配布しました。さらに、クーポン券の対象者で検診未受診者への圧着はがきを用いた再勧奨を始めました。その効果もあり、クーポン券利用率は前年度より子宮頸がんでは約7%、乳がんでは約10%の伸びがみられ、また初回受診者の増加にもつながっています。

要精密検査受診者の受診状況と取り組み

ここ数年の要精密検査の受診者状況は、左記表1のとおりです。概ね85%を超えています。平成29年度において事業評価指標の目標値90%を達成しているのは乳がん検診のみとなっています。市では、要精密検査のうちハイグレード判定の人には訪問で結果を直接手渡し、精密検査を受診してもらえないまで訪問や電話にて繰り返し受診勧奨を行うとともに、ハイグレード判定以外の要精密検査でも精密検査未受診者には通知や電話で受診勧奨を行っています。

本市の全てのがん検診で、毎年約20人以上のがんが見つかっています。がんによる死亡者を減らすためにも、がん検診受診率向上とともに、精密検査受診率100%を目指して、今後も成人病予防センターのみなさんと協力し、一生懸命取り組みたいと思っています。

加賀市のがん検診と受診率

種類：胃、肺、大腸、乳、子宮頸、前立腺

実施期間：5月末〜12月に集団で実施

乳、子宮頸がんは医療機関でも実施

ここ3年間の受診率は左記図1のとおりです。どのがん

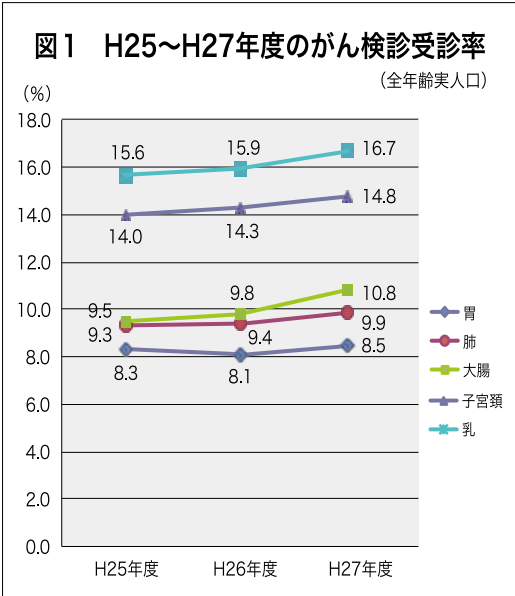


表1 精密検査受診率とがん発見者数

		H25年度	H26年度	H27年度
胃がん	精密検査受診率	86.9%	90.3%	88.1%
	がん発見者数 (人)	7	11	4
肺がん	精密検査受診率	89.4%	86.5%	88.2%
	がん発見者数 (人)	1	2	2
大腸がん	精密検査受診率	85.2%	82.6%	80.5%
	がん発見者数 (人)	13	4	6
子宮頸がん	精密検査受診率	89.4%	91.4%	80.8%
	がん発見者数 (人)	7	1	2
乳がん	精密検査受診率	91.8%	96.4%	96.1%
	がん発見者数 (人)	5	5	5



石川よろこびの会 (がん体験者の会)が 第30回北國がん基金 特別表彰を受賞

「がん体験者の集い」として発足後、30年以上にわたり、がん征圧運動に寄与するとともに、がん患者の声が施策に反映されるよう努めたことが評価され特別表彰を受賞しました。



表彰を受ける松井会長（左）

複十字シール運動にご協力ください。

結核予防会は「複十字運動」を行っています。

この運動は、世界中の結核を撲滅し、肺がんやその他の胸部疾患をなくすため、事業資金を集めることを目的として、世界 80 カ国以上で実施している募金活動です。

また、この運動には、複十字シールを通じて結核や肺の病気について関心を持っていただきたいという願いがこめられています。

日本では各都道府県の結核予防会支部や女性組織が中心となって複十字シール運動を行っています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



結核と闘うシール坊や



複十字シール

がん征圧のための会員募集（日本対がん協会 石川県支部）

会費及び寄付金は、がんに関する啓発普及のための「がんフォーラム」等の講演会や機関誌発刊、ポスターの配付、街頭啓発活動等の啓発事業等に活用しています。皆様のご協力をお願いいたします。

会員の種類

- 維持会員(単年度会員) 会費一口 1,000 円
- 特別会員(単年度会員) 会費一口 10,000 円
- 篤志会員(単年度会員) 会費一口 5,000 円
- 篤志特別会員(単年度会員) 会費一口 50,000 円

寄付金

快気祝い、還暦、古希などのお祝いに際してのご寄付、香典返しに代えてのご寄付など。



日本対がん協会のシンボルマーク

名前：垣浦 智美

職種：消化器検診課
放射線技師

採用年月日：平成 28 年 10 月



- ① 出身地：石川県七尾市
- ② 趣味：ネットショッピング、喫茶店巡り、ゲーム
- ③ 特技：暗算（小学生の頃、4年程そろばんを習ってました。）
- ④ 好きな食べ物：パン類全般、からあげ、中華料理
- ⑤ メッセージ：

自分は胸部レントゲン撮影、胃のバリウム検査などの検診業務をさせてもらっています。

技師としての知識も技量もまだまだですが、受診者さんの感謝の言葉を励みに頑張っています。受診者さんにとっては検診を面倒だとか、煩わしいと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、年に一度の検診だからこそ自分の身体について知る絶好のチャンスです。自分は当センターの職員になり予防検診、健康増進の大切さを改めて感じました。

まだ職員になって日が浅いので右も左も分からない状態ですが、焦らず皆さんに教えてもらいながら仕事を覚えていければと思います。検診業務において受診者さんの協力は必要不可欠です。そのために声掛けや気配りなど、受診者さんが不快に感じることなく検診を受け、また来年もと感じてくれるような環境作りをしていきたいです。

- ① 出身地：大阪府大阪市
- ② 趣味：裁縫・読書・夫と出かけること
- ③ 特技：寝起きが良いです！
- ④ 好きな食べ物：焼肉・れんこんまんじゅう
- ⑤ メッセージ：

センターでは主に健診業務と特定保健指導を担当しています。特定保健指導ではそれぞれ生活背景の異なるお客様が、ご自身に合う生活習慣改善の方法を見つけ、継続できるよう精いっぱいサポートさせていただきたいと思います。一人のお客様に対して半年間のお付き合いになりますが、今まで続けてきた自分にとって心地よい生活習慣を半年間で変えることはとても困難で忍耐を要することだと思います。生活習慣の改善が少しずつ身体に良好な変化をもたらすことを実感していただけるように、また生活習慣の変化を楽しんでいただけるように尽力します！みなさんよろしくお願いします☆

名前：砂田 絢乃

職種：保健指導課 保健師

採用年月日：平成 28 年 10 月



名前：植村 亜希子

職種：生活習慣病健診課 看護師

採用年月日：平成 28 年 10 月

- ① 出身地：石川県金沢市
- ② 趣味：旅行、おいしいものを食べる、息子や甥が遊ぶ遊びを考える
- ③ 特技：マッサージ、ツボ押し
- ④ 好きな食べ物：スイーツ、寿司、焼き肉、揚げ物、お好み焼き
- ⑤ メッセージ：

私は特定健診業務に携わっており、時には朝 5 時前に出勤し、センターを 5 時過ぎに能登方面に向かって出発するという日もありますが、その分、休日にはゆっくり過ごしてリフレッシュしています。

私自身も食べることが大好きで、運動もやや苦手なので、受診者の皆さんの「生活改善が大事なのは分かってるんだけどね～」というお気持ちは本当によく分かります。

しかし、病気予防・健診の大切さを伝えるうえで、私自身が健康でいなければと考えるようになりました。そこで、間食を減らす等のできる範囲から始めてみると、「自分の身体や健康は自分だけのものではない」という気持ちも強くなるのには自分でも驚きでした。

受診者の皆様にも、決してストイックな生活を強いるのではなく、「まずはできるところから改善していきませんか」というメッセージを伝え続けていこうと思います。



名前：正広 由紀

職種：総務課 書記

採用年月日：平成 28 年 4 月



- ① 出身地：石川県白山市
- ② 趣味：映画鑑賞、スポーツジム通い(最近さぼりがち)
- ③ 特技：早寝早起き、車の運転(予定)
- ④ 好きな食べ物：茄子の揚げ浸し
- ⑤ メッセージ：

私の主な業務はセンターの来訪者や電話の受付・案内や、予算及び決算に関わることです。お客様(受診者様)からの検診予約や、検診に関して不安や疑問に懇切丁寧にお答え出来るように日々勉強しております。また、事務所内の業務だけではなく直接会場で住民検診の受付補助や啓発運動(金沢駅前にて受診率向上キャンペーン)にも参加させて頂いております。生の声を聴くことで、電話を介して気付かなかったことが沢山あり、業務の質の向上に繋がりました。まだまだ知識と経験が足りず未熟者ですが、一人でも多くの方に気軽に検診を受けて頂けるように尽力致しますので、これからもよろしくお願い致します。

編集後記

都民ファースト。アメリカファースト。
当センターでは、さしずめ受診者ファーストといったところか?

安心と信頼をして頂く検診を提供しなければならぬ。しかしこのことはあくまでも、受診して頂いた方に対してである。

国はがん検診受診率 50%を目指している。だが現実には 30%前後で目標にはほど遠い。

啓発普及の担当として、いかにがん検診を受診して頂けるか、「がん検診未受診者ファースト」でとりくまなくては……。

みなさんがん検診を受けましょう。

名前：西野 三恵

職種：生活習慣病健診課 看護師

採用年月日：平成 28 年 4 月

- ① 出身地：石川県金沢市
- ② 趣味：読書、ショッピング
- ③ 特技：寝つきがいいので、どこでも眠れます。
- ④ 好きな食べ物：野菜、お菓子
- ⑤ メッセージ：

私は主に特定健診業務を担当しております。予想以上に早朝勤務が多く、眠たい目をこすりながら、ということもありました。しかし受診される方も仕事の合間や忙しい最中に時間を割いて受診されていることを知り、できる限り迅速にかつ丁寧な対応でお迎えし、来年も受けたいと満足してお帰りいただけるようにと心がけています。一年に一度、お客様ご自身の健康状態を知る大切な機会に関わらせていただいているという自覚をもって、これからも技術や知識を磨いていきたいと思います。



2017年度

がん征圧全国大会



金沢駅鼓門



御陣乗太鼓 [輪島市]



白米千枚田 [輪島市]



見附島 [珠洲市]



能登島大橋 [七尾市]

“いしかわ”から発 **診** がん征圧で かがやきの未来へ



那谷寺 [小松市]



こおるぎ橋 [加賀市山中温泉]



白山連峰



兼六園



金沢ひがし茶屋街

2017年9月8日 [金] 時間 = 10:00 ~ 12:30 会場 = 本多の森ホール [金沢市石引]

【記念講演】

講師: アグネス・チャンさん
歌手 / 日本対がん協会「ほほえみ大使」



入場無料



2017年9月8日 「がん征圧全国大会」を金沢で開催
2人に1人ががんになる時代を迎えました。私たちにとってがん対策は重要な課題です。医学の進歩と共にがん対策も時代を追って変化しています。
中でもがん検診が果たす役割は至って重要です。がんを早期に見れば、治癒率も非常に高くなり、早期がんの段階なら多くのがんで9割以上が完治すると言われています。
しかしアメリカでは8割の人が受診している乳がん検診も我が国では4割程度の受診率です。他のがん検診受診率も3割から4割程度です。国はがん検診受診率5割を目標に上げています。
がん検診を事業の柱としています。当センターの役割は益々重要になってきました。加賀百万石・金沢で開催される「がん征圧全国大会」でがん征圧の声が全国に届きますようにスタッフ一同大会準備に取り組んでいます。多くの方のご参加心よりお待ちしております。